

2011(平成23)年7月26日
作家莫言VS弁護士坂和章平 対談
通訳 毛丹青

【別レジメB】

莫言との対談で論じたい映画あれこれ
(レジメの記載以外に思いつくまま、順不同)

第1 テーマ別

1 戦争モノその1

『国姓爺合戦』をどう評価?

(シネマ5・155頁)

『阿片戦争』をどう評価?

(シネマ5・159頁、161頁)

『宋家の三姉妹』

(シネマ5・170頁)

『鬼が来た!(鬼子來了)』

(シネマ5・212頁)

00年5月、カンヌ国際映画祭でパルム・ドールに次ぐ審査員特別グランプリを受賞。パルム・ドールは『ダンサー・イン・ザ・ダーク』が受賞。香川照之が快演。

『戦場のレクイエム』

(シネマ22・218頁)

『孫文の義士団』

(シネマ26・143頁)

『戦争と人間』(山本薩夫監督、オールスター)(シネマ5・173頁)

『人間の条件』(1959~61年、満州を舞台に仲代達矢、新珠三千代が主演)

2 戦争モノその2

三国志あれこれ

『三国志<国際スタンダード版>』(全20巻のDVD)(シネマ5・145頁)

『三国志(THREE KINGDOMS RESURRECTION OF THE DRAGON)』

(シネマ22・184頁)

『レッドクリフPart 』

(シネマ21・34頁)

『レッドクリフPart 』

(シネマ22・178頁)

『エンプレス-運命の戦い-(江山美人)』(趙雲に焦点)

(シネマ22・189頁)

『項羽と劉邦-その愛と興亡 完全版』

(シネマ5・140頁)

『ヘブン・アンド・アース』

(シネマ5・152頁)

『敦煌』(西田敏行)(シネマ未掲載)

『セブン・ソード』

(シネマ17・114頁)

最高の傑作

3 上海を舞台としたスパイものは面白い!

『追憶の上海』(レスリー・チャン)

(シネマ5・238頁)

『パープル・バタフライ』(婁燁監督、章子怡、仲村トオル)

(シネマ17・220頁)

『ラスト、コーション』(原作張愛玲、李安監督、トニー・レオン、湯唯(タン・ウェイ))(シネマ17・226頁)

『シャンハイ』(公開中)(渡辺謙出演)

4 中国の経済成長

貧しさ

『あの子を探して』(99年)など多数

『鉄西区』(シネマ5・369頁)

国営企業の衰退を生々しく

『CEO(最高経営責任者)』

(シネマ17・335頁、生きるヒント86頁)

- ハイアールの発展には驚くばかり
- 5 辺境を舞台とした傑作
- (1) モンゴルを舞台とした傑作
- 『白い馬の季節』
(シネマ17・375頁)
- 『トゥヤーの結婚』
(シネマ17・379頁)
- (2) 朝鮮族
- 『キムチを売る女』
(シネマ17・455頁)
- (3) チベット
- 『ココシリ』(シネマ17・365頁)
- (4) 雲南省
- 『雲南の花嫁』(シネマ20・182頁)
- 6 都市問題
- 『胡同の理髪師』
(シネマ17・409頁)
- 『長江哀歌』(シネマ17・283頁)
- 『四川のうた』(シネマ22・213頁)
- 『シヨンヤンの酒家』
(シネマ5・218頁)
- 『ハリウッド ホンコン』
(シネマ5・286頁)
- 『上海家族』(シネマ5・289頁)
- 7 同性愛をどう思う？描くつもりは？
- 『中国の植物学者の娘たち』
(シネマ17・442頁)
- 『スプリング・フィーバー』
(シネマ26・73頁)
- 8 文化大革命批判？天安門事件批判？
- 『芙蓉鎮』(シネマ5・91頁)
- 『青い嵐』(シネマ5・98頁)
- 『さらば、わが愛／霸王別姫』
(シネマ5・107頁)
- 『生きる(活着／To Live)』
(シネマ5・111頁)

『天安門、恋人たち(頤和園／Summer Palace)』(シネマ21・259頁)

第2 坂和的問題提起

- 1 張藝謀監督、陳凱歌監督のハリウッド進出をどう評価？
- (1) 張藝謀監督
- 『HERO』(シネマ5・134頁)
- 『LOVERS』(シネマ5・353頁)
- vs 『項羽と劉邦—その愛と興亡 完全版』(シネマ5・140頁)
- (2) 陳凱歌監督
- 『PROMISE』
(シネマ17・102頁)
- vs 『北京ヴァイオリン』(シネマ5・299頁)
- 『始皇帝暗殺』(シネマ5・127頁)
- (3) 張藝謀監督、陳凱歌監督と並ぶ(以上の?)大作モノの傑作
- 『墨攻』(シネマ17・128頁)
- 『女帝 エンペラー』(馮小剛監督、章子怡)(シネマ17・298頁)
- 『セブンソード』(シネマ17・114頁)
- 2 中国4大女優をどう評価？徐静蕾をどう評価？(坂和が一番好き)
- 『緑茶』(シネマ17・450頁)
- 『最後の恋、初めての恋』
(シネマ5・325頁)
- 『見知らぬ女からの手紙』
(シネマ17・312頁)
- 『我愛你』(シネマ17・345頁)
- 3 チベット鉄道開通(27時間)(07年1月NHK取材)は？
- 上海-北京の新幹線開通(2010年7月)は？
- (1) 飛行機との競争は？
- (2) アメリカへの特許申請は？

- (3) 故障続きの原因は？
- (4) 『新幹線大爆破』(75年、高倉健主演)の危険はないか？
- (5) そんな視点で『イノセントワールドー天下無賊ー』(馮小剛監督、アンディ・ラウ主演)(シネマ17・294頁)を観れば面白い。
チベット鉄道の列車内の密室が舞台
- 4 潜水艦モノは？
- (1) 潜水艦モノは面白いが坂和の持論
『眼下の敵』(57年)
『U・ボート』(81年)
『レッドオクトーバーを追い！』(90年)
『U-571』(00年)
『K-19』(02年)(シネマ2・97頁)
『ローレイ』(05年)(シネマ7・51頁)
- (2) 近時中国の潜水艦の活躍が顕著。空母の建造も着々と。
近いうちに潜水艦モノの傑作が？誰が一番最初に手をつけるか注目！
- 5 中国映画初の裁判モノは？
『秋菊の物語』(張芸謀監督、鞏俐主演)(シネマ未掲載。DVDで観賞。裁判モノ?)
『再生の朝に ある裁判官の選択』に注目！
- 6 中国初のディザスター・ムービーに注目！
『超強台風』(シネマ26・118頁)
- 7 香港映画をどう見る？
- 8 台湾映画をどう見る？
『呉清源 極みの棋譜』
(シネマ17・249頁)
- 9 西欧列強の進出をいかに見る？
『砲艦サンパブロ』(66年)
ロバート・ワイズ監督、スティーブ・マックイーン主演
- 『北京の55日』(63年)
チャールトン・ヘストン主演
- 10 黒澤明映画の素晴らしさをどう見る？
『姿三四郎』(43年)
『虎の尾を踏む男達』(45年)
『わが青春に悔いなし』(46年)
『七人の侍』(54年)
『蜘蛛巣城』(57年)
『用心棒』(61年)
『赤ひげ』(65年)
『影武者』(80年) 等々
- 11 臓器移植問題
- (1) もともと渡辺淳一の一つの領域。和田心臓移植事件を題材とした『小説・心臓移植』あり。
- (2) 『闇の子供たち』(阪本順治監督、江口洋介、宮崎あおい)(シネマ20・153頁)
- (3) 大鐘稔彦『孤高のメス』(08年)
cf 万波医師の腎臓移植問題
- (4) 臓器移植法の2009年改正
・脳死を人の死と位置づけ
・本人が拒否していなければ、家族の同意で提供可能
・15歳以上という年齢制限を撤廃
- (5) 2010年7月の施行から急速に増大
改正法施行前の脳死臓器提供は、約13年で86例(年間10例前後)
- 施行後の10年7月～11年6月末までの約11カ月で54例
中国では？

